



訪日客が増加する中、名古屋市内のホテルはリニューアルや外国人スタッフの定着を図り、訪日客対応を強化している。レストランに個室を設けたり、宿泊者専用ラウンジを用意したりと特別感を高めるほか、外国人スタッフ同士の交流会も開き、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

### ■より高級感を

名古屋観光ホテル(名古屋市中区)は2023年度、リニューアル工事の第1弾を完了した。レストラン個室をはじめ、富裕層の宿泊者専用ラウンジなど高級感を出すことで

# 富裕層向けリニューアル

## 外国人スタッフ定着にも力

他ホテルと差別化している。18階の宴会場をリニューアルしたレストラン「サロン エスコフィエ」は、2人から利用できる「ON TAKE」、最大30人まで利用できる「SUZUKA」、「IBUKI」の3室を用意した。白と金を基調とした内装で、ラグジュアリーな空間に仕上げた。

また同階には、富裕層の宿泊客向けの専用ラウンジ「エスパシオラウンジ」を開設。専任スタッフによるきめ細かなサービスを提供するほか、朝食やアフタヌーンティードも楽しめる。

ホテルの窓口となるフロントレセプションは、1階から6階に移転した。よりプライベート感のある空間でチェックインの手続きができる。

地下1階には「大人の隠れ家」をコンセプトに、焼き鳥店「八百万」、コース形式でおでんを楽しむ「拍子木」がオープン。日本酒セラーム併設し、両店の食事と併せて日本酒を味わうことができ

る。なお、24年度にも第2弾の改装をレストラン中心に実施する予定。

### ■外国人スタッフ

ANAクラウンプラザホテ

ルグランコート名古屋(名古屋市中区)は、23年3月に外国人スタッフの交流を促す「ユニバーシ交流会」を発足した。正社員や、正社員に準ずるアルバイトなど外国人スタッフに加え、島原総支配人らオブザーバーも参加している。名古屋市内のホテルでは珍しい取り組みだという。

毎月1回、定例会を開き、それぞれが抱える悩みや、各国の文化を共有する。また社内広報紙を作成し、1人ずつスタッフを紹介するほか、愛知県内のホテルを視察する。これまで中部国際空港セントレアホテル、フォーポイントバイシエラトン名古屋中部国際空港、名古屋マリオットアソシアホテル、名古屋JRゲートタワーホテル、ストリングスホテル名古屋、名古屋プリンスホテルスカイタワーをめぐった。

短時間勤務の学生バイトや外注の外国人スタッフも含め、今後はさらに交流会の参加対象を広げる方針だ。島原総支配人は「訪日客が増える中、外国人スタッフの存在は大きい。これから入社してくる外国人スタッフのためにも、今いるメンバーを核として、長く働ける環境を整えたい」と話している。